

●京都府立府民ホール（指定管理者）

<p>前回検証結果</p>	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術会館との関係性を基軸においた本施設のあり方について検討を行うこと。 ・施設の機能と活用方法の改善を図り、高いクオリティのホールとしての施設の魅力の向上を図ること。
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・府民ホール、文化芸術会館の両施設の特性を踏まえ、府民ホールにおいては、一層魅力ある音楽公演に取り組み、利用者数の増化を図っている。 ・新たな取り組みとしては、公募により子ども達に歌うこと踊ることの楽しさを知ってもらう創作音楽劇や、通常のコンサートでは入館をお断りしている未就学児のためのコンサート、子育てに追われて自分の時間が取れない子育て世代に少しでもリフレッシュしてもらえるコンサートを実施 ・自在に変形できる舞台や音響の良さなど機能を最大限に活かせるよう、主催者や演者などの意見や提案を積極的に取り入れることにより、魅力ある演出を実施。 ・令和6年1月～8月にかけて、特定天井の耐震化及び音響・照明設備の更新。
<p>取組の結果</p>	<p>◇利用者数、利用料金収入について、コロナ禍前の水準に回復傾向にある。</p>
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設・設備の老朽化が進行 ◆利用者の年齢層が高い
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> □場所的優位性・芸術知見を深めるコンテンツ等、京都府の文化芸術活動の場として文化施設の役割を果たしている。 □外国人観光客の取り込み等、利用度の向上については今後の更なる工夫を期待。 □公共性をより向上させるために、レストランやカフェなどといった劇場以外の周辺施設の充実を図ることも課題。 □京都府を代表する文化施設としての品格を保つイメージ戦略が必要な施設。

<p>京都府の検証結果 及び対応方向</p>	<p style="text-align: center;">継 続</p> <p><改善方策></p> <p>◎外国人観光客の取り込み等、利用度の向上について更なる取組を推進すること。</p> <p>◎品格のあるホールとしての魅力向上を図り、施設全体の充実を図ること。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><今後の対応></p> <p>○品格あるホールとしてのブランドイメージを守りながら、予約のない日の施設の活用方法や、空きスペースの柔軟な活用などを検討し、より多くの人々に開かれたホールとして様々な活性化を図る。</p>
----------------------------	---